

# 学校経営方針 及び 学校教育目標

通いたくなる学校    通わせたい学校    笑顔いっぱい为学校

## 通いたくなる学校

- 児童にとって  
楽しい、思いやり  
やさしい、美しい  
共感、協調など

## 通わせたい学校

- 保護者にとって  
安心、安全、信頼  
連携、充実、  
開かれたなど

## 笑顔いっぱいの学校

- 教職員・児童  
保護者・地域にとって  
元気、喜び、明るい  
認め合い、励まし合い

## 1. 教育目標

夢をもち    心豊かに    たくましく生きる    大矢部の子

### ◎めざす学校像

- ①学校教育目標の具現化をめざし、教育活動を展開する学校
- ②児童の一人ひとりの可能性を引き出し、生かす育てる教育に努める学校
- ③児童と保護者の期待に応え地域から愛され、信頼される魅力のある学校
- ④分かる授業、楽しい授業をめざし研修に努める学校
- ⑤清潔でけじめがあり、楽しく安全と安心な生活のできる学校
- ⑥緑に囲まれた自然環境を生かした、心やすらぐ学校

### ◎めざす子ども像

- 物事をよく考える子
  - ・きまりを守り、礼儀正しくする
  - ・課題を見つけ計画的に行動する
  - ・自ら進んで学習する
  - ・人の話を聞き、考えて行動する
- 思いやりのある子
  - ・だれに対してもやさしく、助け合い、励まし合える
  - ・自然や物を大切にし、常に感謝の気持ちを忘れない
- ねばり強くがんばる子
  - ・目標に向かい、最後まであきらめずやりぬく
  - ・いやがらず、めんどくさがらずに行動できる
- 明るく元気な子
  - ・健康でじょうぶな体をつくる
  - ・良い、悪いの判断ができる
  - ・命の大切さがわかる
  - ・整理整頓に心がけ、身の回りをきれいにする

## 2. 学校運営の基本的な考え

- (1) 教職員として使命と誇りと責任をもち、創意と信頼感に満ち、生き生きと躍動している学校をめざして、教職員一人ひとりの個性を互いに尊重しあい、それぞれがその力を十分に出し合い、共通理解・認識・共通実践の上に立って協力体制を確立し、学校運営の推進を図る。
- (2) 地域・児童の実態を把握し、学校教育目標・学年、学級目標を定め、その具現化をめざし、より一層の教育効果を高めるために、児童そのものの姿を理解し、児童の目線に立って、児童の実情や社会の変化・要請に即応した創造的・弾力的な教育活動の推進を図る。
- (3) 家庭や地域の実情を考慮し、児童の個性や能力に応じたきめ細かい教育活動を進め、明るく生き生き、安全で楽しく学べる教育環境の整備・充実を図り、児童にとって「通いたくなる学校」に努める
- (4) 家庭や地域との連携を深め、開かれた信頼される学校づくりをめざすように努める。そのために、学校・学年・学級等からの情報発信に努力する。また、学校評価を活用し、よりよい教育活動の推進に努め、保護者にとって「通わせたい学校」、地域等にとって「笑顔いっぱいの学校」をめざす。
- (5) 人間尊重の精神を中心にすえ、全児童を全教職員で育てるという意識をもって教育活動の推進を図る。
- (6) たゆまざる教育実践を進めるためには健康が第一である。常に自己の健康管理に留意し、十分な気力と体力で明るく児童に接する。

### 3. 具体的な方針

- (1) 学校教育目標達成のために、児童の実態に即した学年目標を設定し、学年を主軸とした学年・学級経営に努め、ゆとりある教育活動を展開する。
  - ◆学年、ブロックの連携を重視し、協働体制づくりに努める。
- (2) 一人ひとりの児童を大切に、学ぶことの楽しさ、自ら学ぶ意欲の高揚に努め体験的な学習や問題解決的な学習の充実を図る。
  - ◆少人数授業やチームティーチングの授業形態を生かし、個の学びや集団での学びの充実を図る。
  - ◆校種（幼稚園、中学校）の連携を密にし、児童の育ちや学びの関連性・連続性を探る。
- (3) 日々の授業を大切に、思考力・判断力・表現力などの育成を重視し、学習形態・指導方法の工夫改善に努め、充実した授業実践を図る。
  - ◆児童の学習状況を的確に捉える工夫をし、児童の実態に沿った指導の展開
- (4) 地域の中の学校として信頼され、より開かれた学校づくりを推進する。
  - ◆自然環境に恵まれた立地条件を生かした教育活動に努める。
  - ◆地域学習の資料の収集と教材開発
  - ◆学校と家庭・地域社会と連携を図り、安全・安心が確保できる学校づくりに努める。
  - ◆地域教育力を活用し、より弾力的、効果的な教育に努めるとともに、保護者・地域参画型（教育支援ボランティア等）の教育も探る。
- (5) 学校評価を活用し、よりよい教育活動の推進に努める。
  - ◆教育活動全般について、教育活動を絶えず検証し、学校教育目標の達成に向けて改善を図る。
  - ◆情報の公開や共有に努め、学校による自己評価ならびに児童・保護者・地域・学校評議員などによる評価やさまざまな情報をもとに、工夫改善への具体的な手だてを講ずる。

### 4. 本年度の努力点

- (1) 総括教諭を中心とした組織を生かし、より効率的、機動的な体制を確率する。教職員一人ひとりが組織の一員としての使命と誇りと責任を自覚し、経営参画意識を向上させる。
- (2) 問題点を先送りせず、常に学校教育活動に見直しをかけ、こまめなPDCAサイクルの確率に努め、学校経営改善を図る。
- (3) 児童一人ひとりのよさを伸ばし、学ぶ楽しさを味わわせるとともに、確かな学力と豊かな心を育む。
  - ・2学期制のよさを生かす
  - ・基礎基本の定着と考える力の育成
  - ・学習形態、指導と評価の一体化
  - ・学習意欲の喚起
  - ・各教科部等での重点目標の設定と経営の充実
  - ・教職員の研修の充実
  - ・体験的活動と問題解決的な学習の重視
  - ・教材教具の開発と活用
  - ・個に寄り添う指導と集団での学び合いを生かした指導の充実
  - ・児童と過ごす時間の確保
  - ・心の教育の充実
- (4) 不登校の未然防止・早期解決に向けた取り組みを進める。
  - ・学ぶ楽しさや自己実現の喜びを実感させられる学校生活の実現
  - ・ふれあい相談員とスクールカウンセラーとの連携と活用
  - ・問題の早期発見
  - ・問題の共有化と協働的な支援体制づくり
- (5) 保護者、地域との連携を密にし開かれた学校づくりを推進する。
  - ・積極的な学校公開と学校体制
  - ・地域教育力の活用
  - ・保護者参画
  - ・地域共生
  - ・特別支援教育の体制づくりと個のニーズに応じた指導法
  - ・特別支援学級と普通級との交流
  - ・幼小連携を図った教育の計画と実践
- (6) 危険予知、危険回避に配慮した教育活動を図る。
  - ・危険を伴う学習においては、その内容を明記（朱書き等）する。
    - ※熱湯や火の使用、刃物や糸鋸等の使用、化学薬品の使用、校外学習における配慮事項等
  - ・「ヒヤリ、はっと」報告書の蓄積
  - ・校外学習での事前確認
- (7) 教職員の相互理解に沿った柔軟で弾力的な組織づくりを推進する。
  - ・個人の特性を生かした役割分担
  - ・若手教諭とベテラン教諭の協働
  - ・指導法改善案や業務改善案の共有化
  - ・企画調整会議の定例化と活性化
- (8) 学校評価を活用し、よりよい教育活動の推進をする。
  - ・学校評価による検証と改善
  - ・情報の公開と共有